ギア プロファイリング SPECIAL 2023

自分史上最高の“振りやすさ”だから飛ぶ!

試打&解説
勝又崇之プロ
専修大学卒業後の08年プロテストでトップ合格。ギアへの造詣も深く、自らの試打データを弾道計測器並みの正確さで予測できる。現在は東京・上石神井の「GOLF PLACE」でレッスンを行う

[オノフ] ONOFF KURO

「重ヘッド」にすることでインパクト効率を高め、ボールスピードが上がり飛距離が伸びると好評だったオノフKUROシリーズがモデルチェンジ。スウィングバランスや重心を調整できる独自の「クロス バランス テクノロジー」で振りやすさを最適化。さらに飛ばせるように進化していた!

1g～9g、12gのウェイトスクリューは1個1650円。グリップ専用レンチ（550円）、トルクレンチ（ポーチ付き3850円）は別売り

新次元の調整機能「XCBT」（クロス バランス テクノロジー）

ソールに配置された3カ所のウェイトスクリューと、グリップエンドのウェイトスクリューを入れ替えることでスウィングバランスと弾道を調整可能。スリーブの調整機能ではロフト角、ライ角、フェース角を8通りのポジションにチューニングできる

ソール3カ所＋グリップエンドのウェイトを入れ替えることで弾道、振り心地をカスタマイズ

振り心地、弾道をカスタマイズ

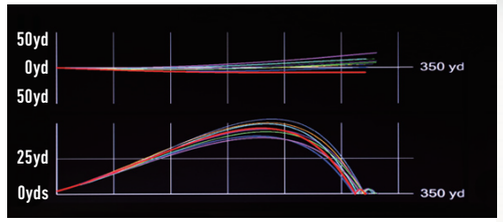
「オノフのなかでは中上級者向けの『KURO』らしく、いい顔してますね。構えやすく、左に行かない安心感があります。ウェイトを初期設定（トウ3g、バック2g、ヒール5g）のまま打ってみると、見た目と違ってヘッドが返りやすく、程よいつかまりがある。これならHS40～42m/s前後でも十分に使えるでしょう。グリップエンドのウェイト（7g）でカウンターバランスが効いていて振りやすいですね。クラウンとソールの両方に設けられた溝のおかげか、インパクトでボールを弾く感じがあり、球離れが早く、ボール初速も出ています。さらに、トウ、ヒールに外したときのミスにも強い。

何も調整しなくても、やさしく飛ばせるドライバーですが、このクラブがすごいのはソール3カ所とグリップエンドのウェイトが入れ替えられるところ。グリップエンドを軽くすればスウィングバランスが大きくなりヘッドが利いてくる。自分が一番気持ちよく振れるバランスが見つかればヘッドスピードが上がり、飛距離が出せるんです。

またソールウェイトのトウを重めにすれば左に行かなくなり、バックを重めにすると球が高くなる、と弾道の調整もできるんです。打ち比べてみれば〝本当に同じドライバーなの!?〟と思うほど、劇的に変化が出るし、弾道だけでなく打感も変化します。さらにスリーブでもロフト角、ライ角、フェース角が8通りに調整可能。別売りで重さ違いのウェイト（1～9g、12g）があるので、その組み合わせは数え切れないほど。上級者には夏と冬でスペックの違うドライバーを使う人もいると思いますが、これなら1本で調整できます。ヘッドに鉛を貼って微調整なんてことも、このドライバーなら不要です。『オノフKURO』は気持ちよく振り抜けて、やさしく飛ばせるドライバーです」（勝又プロ）

独自の溝「パワートレンチ」で反発性能と寛容性がアップ

ヘッドの溝「パワートレンチ」が進化し、ソールのトウ側には3重のトレンチを配置することで、トウ側の打点ブレ時の飛距離ロスを軽減。フェース左右方向の高初速エリアも拡大した



ウェイトをいろいろ入れ替えて打ってみると振りやすさが変わり、HSは48.8～50.3m/sと1.5m/sの差が生まれた。弾道も高さが37.5～47.1ヤード、打ち出し角が11.1～14.0度、キャリーで260.4～270.0ヤードと10ヤードもの飛距離差が出た

オノフ
ドライバー KURO

◎ロフト角／9.5度、10.5度
◎ヘッド体積／460cc
◎長さ(60度法)／45.75インチ
◎重さ／304g
◎シャフト／CBT:624D(S)
◎8万5800円

「同じクラブとは思えないほど弾道と振り心地が変化」

「初期設定ではヒールが5gと重く、球がつかまりやすくなっています。やさしさと操作性のバランスがよく、球も上がりやすい。これでつかまりすぎる人はネックの調整機能でフェースアングルをオープンにしたり、バックを重くするとスイートエリアが広がってヘッドの直進性がアップします。また、トウを重くすることでも左に行かなくなりますが、やさしさはなくなっていきます。バックを重くしたほうが打感が軟らかくなりました」（勝又プロ）

オノフ
フェアウェイアームズ KURO

◎ロフト角／15度(W3)、18度(W5)◎ヘッド体積／180cc(W3)、150cc(W5)◎長さ(60度法)／43.25インチ(W3)、42.5インチ(W5)◎重さ／318g(W3)、325g(W5)◎シャフト／CBT:624F(S)◎4万9500円

2つのウェイトを入れ替えると弾道が変わる

「ヘッドが大きくて安心感があり、多少打点がブレてもミスになりにくい。スクエアで構えやすく据わりもいい。ヘッドの抜けもいいので、楽にボールが上げられる」（勝又プロ）

オノフ
ユーティリティウイングス KURO

◎ロフト角／21度(U3)、24度(U4)、27度(U5)◎長さ(60度法)／39.5インチ(U3)、39インチ(U4)、38.5インチ(U5)◎重さ／356g(U3)、363g(U4)、370g(U5)◎シャフト／CBT:624I(S)◎4万700円

抜けのよいソール形状ピンをデッドに狙える

「オノフの伝統的なUT顔。フェースが厚めでスピンが入りやすく、アイアンのように打てる。引っかからないし、球を拾いやすく、ラフからでも打ちやすそう」（勝又プロ）